

日本大学第三学園生徒支援会レター 増刊号

2011年2月24日発行
発行：生徒支援会役員会

教職員アンケートを実施！ 集計結果をご報告します。

保護者アンケートの実施とその集計結果については、去年発行しましたコミュニケーション通信で皆様にご報告いたしました。一方、教職員と保護者が手を携えて、より良い生徒支援会にしていくとの観点から、同じ生徒支援会会員であります教職員の方々から広くご意見を集める目的で教職員アンケートを実施しました。

この程、教職員アンケート集計結果がまとまりましたので、会員の皆様にご報告いたします。

回収率は、約35%でした。ご協力いただきました教職員の方々に、書面を借りて御礼申し上げます。保護者アンケート集計結果と合わせ、今後の生徒支援会活動の参考にしていこうと考えています。



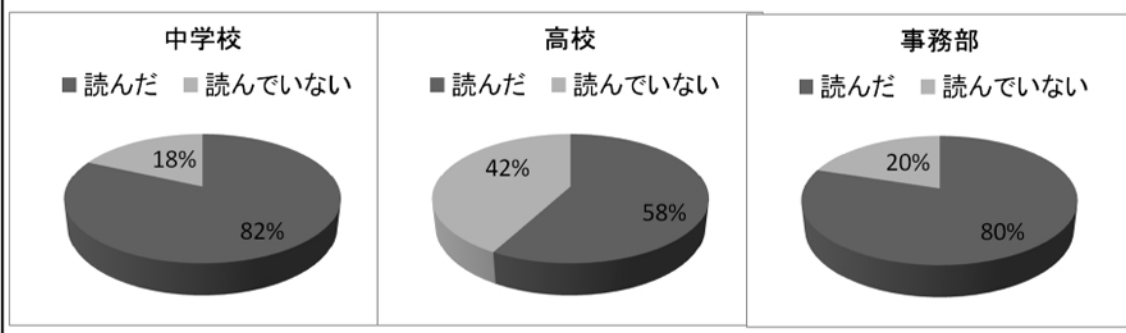
1、生徒支援会の認知度は100%。

アンケート1問目は、「生徒支援会が設立されたことをご存知ですか？」

後援会を引き継ぐ形で、生徒支援会が設立されて、約9ヶ月が経過しました。教職員と保護者の代表により、生徒支援会が組織されていることもあり、教職員の方々の認知度は100%でした。

2、生徒支援会レターは読まれましたか？

中学校の先生方、高校の先生方、事務部の方々にそれぞれお答えいただきました。アンケート実施時期が教職員の方々のお忙しい時期に重なったこともあり、以下のような結果となっています。



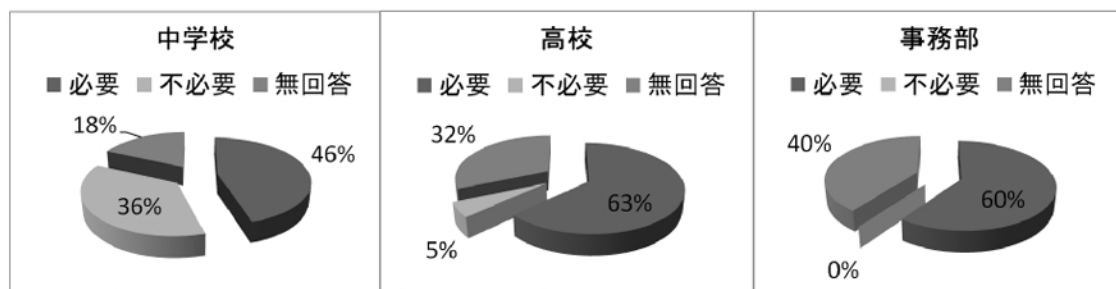
3、生徒支援会レターを読まれた方は、感想をお聞かせください。

- ・ 活動内容が良くわかった。 ・ わかりやすく書かれていました。
- ・ 読みやすかった。 ・ 面白く読ませてもらいました。
- ・ データがグラフ化されており、内容が明確に伝わった。
- ・ 内容よりもまず出したことに意味があった。
- ・ 学園のために設立されたのを知り、感謝しています。

- ・ 活動趣旨に対して、何をしているのかわかりにくい。
- ・ アンケート結果が若干気になるところがある。
- ・ 各学年からのお知らせがもう少しあったほうが良かった。



4、生徒支援会は必要に思いますか？



全体としては、57%の方が必要と回答されています。

必要と回答された方の理由としては、

- ・ 後援会に代わるものとしてはあったほうがいい。
- ・ 生徒⇄教員⇄保護者のパイプ役として必要。
- ・ 学校・家庭等いろいろな角度から生徒指導ができる。
- ・ 保護者に負担がかからなければ必要。
- ・ パイプ役として必要。保護者と教員の立場が違ふと考え方も違ふので調整が必要。
- ・ 日大三高の教育活動にご賛同いただき、改善の意見とそれに伴う協力を円滑に進めることが考えられる。
- ・ 何らかのサポート的な組織は必要だと思います。
- ・ 保護者のご意見を建設的に学校運営に反映するため。
- ・ 学校は組織として生徒保護者と三位一体でなければならないと思うから。
- ・ 保護者からの意見があった方が健全。
- ・ 生徒を中心に学校教職員と保護者の方々との連携(相互理解・協力など)は必要不可欠であるため。
- ・ 父母の意見は聞く価値あり。
- ・ 学校教育では保護者との連携は不可欠であり、そのための組織として期待したい。
- ・ 学校だけの教育では限界があり、家庭との連携を図るため。
- ・ 保護者と連携をとることで風通しが良くなり、双方の要望が伝わりやすくなる。

不必要と回答された方の理由としては、

- ・ 「もしなくなったら本当に困ることがあるのか」と考えるからです。
- ・ 必要性が良くわからない。
- ・ クラスの代表を選ぶのが大変である。
- ・ 必要だとは思いますが、目的が不明瞭。目的や具体的事業案を示すことが必要では。
- ・ 今のところ特に必要性を感じられない。
- ・ 現状の学校行事のあり方に支援会が関わる機会は非常に少ないと思われます。
- ・ なぜ今までの後援会ではダメだったのか良く分かりません。

その他のご意見として、

- ・ 分からない。
- ・ 内容による。
- ・ どちらともいえない。今後の活動内容による。

5、生徒支援会の活動に望むこと、望まないことは何ですか？

望むこと

- ・ 活動を目に見える形に変えることと行動指針等の提示。
- ・ 短期・長期に分けて活動目的を明確にすること。
- ・ PTAとならないこと
- ・ 家庭での保護者の協力(自宅学習、生徒指導的なこと)を呼びかける。
- ・ 主役が生徒であることを基本にしてほしい。
- ・ 活動内容の明確化。家庭内での生徒支援(マナー、言葉遣いなど)。
- ・ 考えられていることを既製の価値観にとらわれず、他人の意見に左右されず行われたら良い。
- ・ 生徒学習面での家庭での取り組みのあり方を考えてほしい。
- ・ 学校と保護者の健全なパートナーシップの構築につながるような活動。
- ・ 学校改革のために良い意見は取り上げられる。
- ・ 第三者の目から見た学校への意見、改革。
- ・ 生徒を側面から支えること。
- ・ 入試説明会等での学校PR活動。
- ・ 私学拡充大会の幹事等、担任に仕事が回ってこないように。
- ・ 保護者向けの講演会等を計画し、保護者同士が交流する機会を増やしてほしい。

望まないこと

- ・ 個人的な利益につながらない活動をする事。
- ・ ママさんバレー、謝恩会など。
- ・ 発言力が大きくなること。
- ・ 保護者のご機嫌伺いのような組織になってしまうこと。
- ・ むやみに意見を取り上げないこと。
- ・ 職員会議を通さず事後報告が増える活動となること。
- ・ 教員人事への介入。



6、自由意見があれば、教えてください。

中学校教員より

- ・ 任期が1年の場合、来年度の選出は今回と同じようにやっていただけるのか？
- ・ 2年～6年となる時、クラス替えの考慮に入れる項目となるかどうかを伺いたい。

高校教員より

- ・ 保護者も一生懸命頑張っている姿勢を子供たちに見せてほしい。
- ・ 働く保護者の負担が増えないよう配慮してほしい。
- ・ 役員選出を4月または5月の保護者会で行うことが定着すると保護者会の欠席が増えます。避けて下さい。
- ・ 保護者の無理な要望を抑えて下さい。

事務部より

- ・ どのような位置づけなのか分かりにくいように思います。

集計を終えて

今回のアンケートは保護者アンケート同様、どのようなアンケート形式が良いのか悩みましたが、広くご意見を集める目的でしたので、自由記述形式としました。様々なご意見をお聞かせいただきました。特に、批判的なご意見には耳を傾け、今後の活動の参考にしていきたいと思えます。

今の時代、一つのことをいろいろな角度から観ることが大事だと思います。生徒支援会で言えば、教職員の立場と保護者の立場では同じ事を観るにも、違って見えることもあります。生徒支援会には、お互いの立場を尊重しながら、総合的に判断していく知恵が求められていると思えます。

保護者アンケート、教職員アンケート、校長先生を困む会等を実施して、実に多様なご意見があることを再認識いたしました。少しずつ、教職員と保護者の距離が近くなっているのではないかと思います。お互いを知り、お互いを理解しあうことで、はじめて手を携えることができると思えます。アンケート集計結果報告で、その第一歩が踏み出せばいいと思えます。

最後になりましたが、塩沢先生にアンケートの集計をご協力いただきました。また、アンケート実施に際し、堀内校長、高瀬副校長にご了解をいただきました。改めて、学校のご協力に御礼申し上げます。

